

市街化調整区域内の区域指定制度で 調整区域内の活性化が図れる

子供の健康を守るため
母子の健康管理が重要



上野 豊
(うへの ゆたか)



録画映像
はこちら

子供の健康格差縮小 について

子供の健康格差の現状と 乳幼児期からの早期教育 について。

保健福祉部長 健康格差は、地域や家庭環境、経済状況などによって影響を受けるといわれており、「健康日本21」でも取り上げられている国の重要な健康課題である。特に、子供の成長や発達においては、健康状態

がその後の人生に大きな影響を与えるため、早期の対策が必要であると認識している。

本市では、子供の健康を守るためには、妊娠期からの母子の健康管理が重要であると考え、すべての妊婦と面談を行い、

親の就業形態や生活習慣、育児の基礎知識等により子供の養育に大きな格差が生じないよう各家庭に情報の提供や必要な支援を行っていく。

区域指定の活用について

現状について。

都市建設部長 「区域指定制度」は、あらかじめ指定された区域内の土地であれば、出身者要件を問うことなく、住宅を中心とした都市計画法の許可が可能となるため、これを導入することは、市街化調整区域内の利便性の向上や、地域コミュニティの維持、活性化を図

るうえで有効な施策の一つであると考えている。

小学生のスポーツ活動と中学生の部活動 地域移行について

スポーツ活動の方向性について。

教育長 部活動の地域展開は、教員の働き方改革の一つでもあると感じているが、地域の方が、「地域の子供たちは、地域で育てる」という意識

のもと、無限の可能性を持つ子供たちに、専門性のある指導者による、多様な活動を提供することが期待されている。

今後は、学校と地域が部活動の地域展開について、その意義を共有することが大切であり、地域の皆様の協力を得て、児童生徒や保護者の視点に立って推進していきたい。

